

初等部

「初等部校内音楽会」

堀内響子・佐藤翠

I. はじめに

今年度は音楽会が行われる年ということで、初等部でも特に合唱に力を入れて取り組んできました。大きな声で楽しく元気よく歌う1年生から、斉唱から合唱へとステップアップしていく3年生、そして、声の響きを感じながら様々な表現を目指した6年生まで、それぞれの段階に応じて練習を重ねてきました。合唱と同じく、初等部の音楽では合奏もとても大切なものと位置づけています。6年間を通していろいろな種類の楽器を経験し、どの学年も一年に一度合奏発表を行っています。自由学園音楽会に初等部から出演するのは4・5・6年生のみですが、初等部校内音楽会には初等部全児童が出演し、歌と合奏の発表をしました。全学年が同時期に練習、発表をするという意味では特別な音楽会となります。

音楽会の目標として、初等部全体では「心を一つに」、1・2・3年生は「一生懸命する音楽会」、4・5・6年生は「指揮をよく見る 伴奏をよく聴く 歌声を合わせる」ことを励みました。

1・2・3年生は、各学年ごとの演目と3学年合同の斉唱。4・5・6年生は、3学年合同のリコーダー合奏と合唱曲2曲を発表しました。4・5・6年生にとっては、この後に控えている自由学園音楽会を前に、大勢のお客様に演奏を聴いていただく貴重な機会となりました。

II. 指導上の留意点

各学年によって声質や雰囲気異なるので、まずはそのよさが最大限発揮されるような選曲を目指しました。普段から、私たち指導者も「楽しく笑顔で」をモットーにして授業を行っています。しかし、発表やその練習過程は真剣に取り組むたいと思っています。低学年においては、楽しく大きな声で歌うことができればもうそれで十分だと思いますが、高学年になるにつれて二部合唱にも入っていくので、様々な表現が求められます。元

気いっばいに澁刺と歌う曲もあれば、落ち着いてしつとりと歌う曲もあります。高学年になると、好みや得意不得意の意識が生まれてくることがありますが、それらも認めながら、子どもたちの希望を聞きつつ、いろいろな種類の曲に挑戦させてあげたいと思っています。

III. ～初等部校内音楽会プログラム～

2014年11月15日 自由学園記念講堂

1、1年生

斉唱「あおいそらにえをかこう」

一樹和美作詞 上柴はじめ作曲

ミュージックベル合奏「いつも何度でも」

木村弓作曲

2、2年生

斉唱「うたえてのひら」

名村宏作詞 越部信義作曲

メロディオン合奏「きらきらぼし」

フランス民謡

3、3年生

合唱「このうたゆうき」

ヒビキ・トシヤ作詞 宮川彬良作曲

リコーダー合奏「山のこだま（はじめの二重奏）」

井上実作曲

「ランチタイム・マーチ」

北村俊彦作曲

4、1・2・3年生

斉唱「まっかな秋」

薩摩忠作詞 小林秀雄作曲

5、4・5・6年生

リコーダー合奏

「BUILDERS OF TOMORROW」

Geoffry Russell-Smith 作曲

合唱「希望のささやき」

緒園涼子作詞 A. ホーソン作曲

「地球星歌～笑顔のために～」

ミマス作詞作曲 富澤裕編曲

IV. 各学年の取り組みについて

1年生は、歌の世界をイメージして、美術の授業中に大きな絵を描き、その共同作品を背景にして伸び伸びと歌いました。気持ちのよい青空に船を描いて、その船に乗って自分たちの島へ出発しよう！という夢いっぱいの曲です。ミュージックベル合奏は、練習中から積極的な取り組みが多く見られました。階名でたくさん歌って音楽を身体中に馴染ませてから楽器の練習に入り、日々上達していく過程を皆で楽しみながらさらに練習を重ねました。

2年生は、緊張するといつもの歌声が出せなくなってしまうことがあるので、まずは気持ちをそろえて手拍子から入る曲を選びました。歌い終えた後の子どもたちのホッとした表情が印象的です。1年生のときから取り組んでいるメロディオンで二重奏の「きらきらぼし」を演奏しました。有名なメロディーをテンポ、リズムを変えて表現しました。自己流にならないよう指使いを守ることに苦戦しましたが、お互いに教え合いながら練習をしてきました。

3年生は、はきはきとした力のある歌声で表現することが得意なクラスです。「このうたゆうき」はそういった勢いと力強さが求められる曲です。練習中から全力で歌い、本番でも声量が出ていました。これまで斉唱で歌ってきましたが、合唱にレベルアップしたことも大きなことでした。6月から始めたリコーダーも、例年のこの時期に習う音域よりもさらに多い音に挑戦し、タイプの異なる2曲にしっかりと向き合いました。

1・2・3年生合同で歌った「まっかな秋」。同じ赤色でも様々な赤色があることを実際の紅葉を見て、感じて表現しました。各学年のみで歌うこととはまた違った楽しさや発見がありました。合同練習では、子どもたちも張り切っていました。

4・5・6年生合同でリコーダーの四重奏に挑戦しました。特に難しいソロパートは6年生が担当しました。ゆっくりと時間をかけて自分たちの担当パートができるようになると、4つのパートを学年の垣根を越えて、合同、二重奏など少しずつ厚みを増して合わせていきました。

4・5・6年生の合唱は、この後の自由学園音楽会の取り組みのところで詳しく述べます。



ミュージックベル合奏 1年生



斉唱 1・2・3年生



リコーダー合奏 4・5・6年生